

ご意見・ご要望を  
お寄せください

〒520-8575 大津市御陵町3-1 大津市役所内 TEL/FAX: 077-524-5613

http://www.otsu-jcp.net/ Eメールアドレス: info@otsu-jcp.net

# 市民のいのちと暮らしを 守る希望の年に



2015年。今年は市議会議員選挙の年です。誰もが安心して暮らせるまちづくりが前進するように、日本共産党大津市会議員団は今年もがんばります。年頭にあたり、市政の現状や課題、各議員の抱負などについて語り合いました。

## 増税ではなく 社会保障の充実を

**塚本** 年末に行われた総選挙は、共産党の躍進と小選挙区効果による自公政権与党の議席維持が特徴的な結果となりましたが、市政や市民生活との関係でどのように見えていますか。

**石黒** 市民の皆さんからは、8%への増税で暮らしが厳しくなってきた、さらなる増税はこんでもないという声をたくさん聞きました。越市長も以前、消費税増税を主張していましたが、市民の暮らしに目を向けるべきです。

**杉浦** 共産党市議員団は「消費税増税ではなく大企業や富裕層など能力に応じた税負担で、社会保障の財源確保を」と国への意見書を提案してきましたが、この主張に共感が広がったのではと感じています。

**きのせ** 私たちが行った市民アンケートでは、年金の削減や生活保護費の切り下げ、医療費の負担増等の社会保障の改悪などにも大きな怒りの声が寄せられました。

## 暮らしを守る市政の あり方が問われている

**岸本** こんな時に市政が暮らしを守るためにがんばるべきですが、公共施設の使用料値上げや補助金カット、国保料の値上げなど、さらに負担を増やしてきたことは許せません。

**塚本** 市は中期財政見通しで今後5年間に319億円も収支不足が見込まれるとしていますが、昨年度は26億円もの黒字決算でした。実態とかけ離れた財政難を口実に、補助金を削ったり、施設の統廃合を進めるのは問題です。

**きのせ** 現在策定中の公共施設適正化計画では、今後30年間で学校施設は25%、市営住宅は33%も削減するとしています。市民サービスの後退が心配です。

**岸本** 11月の議会でも子どもが少なくなった地域で、保育・教育施設を残してほしいという請願が出されたけど、公共施設は地域住民の財産、どのように整備するかは住民の合意が不可欠ですね。

**佐々木** 市民生活を支えるためにどのような施設がどれだけ必要かを考えるのではなく、財政削減ありきでは自治体の役割を投げ捨てることとなります。

**杉浦** 安倍政権は企業が活動しやすい国づくりへと、規制緩和で自治体の窓口業務や公共施設整備も民間企業に開放を進めようとしていますね。



**石黒** 市では推進の組織まで作って民間委託を進めようとしているけど、たとえば窓口業務は個人情報情報の塊。人権や暮らしを守ることを第一にして、安易な民間委託はやめるべきです。

## 願い実現の共同を広げ てがんばります

**杉浦** 昨年、英語教育などで市長の教育への介入が問題になりました。法律が変

わって、市長の権限が強化されたけど、子どもの発達を保障する教育の自主性が守られるよう力を合わせていきたいです。

**岸本** 昨年は残土の不法投棄の規制や、交通不便地域の一定の確保など、住民の皆さんと一緒に市政に、はたらきかけてきました。今年は中学校給食を実現させるために力を合わせてがんばっていききたいと思

**佐々木** 地域経済活性化のためには、住宅リフォームなどのように地域にお金が循環する仕組みづくりが大切。リストラをする大企業への補助金などをやめて、中小企業の振興などさらに積極的に取り組んでいきたい。

**きのせ** 今年は子育て新制度がはじまりますが、どの子ども安心して良い保育が受けられるように、保育条件の整備へがんばりたい。また、若者の安定した雇用も子育ての条件です。

**石黒** 昨年に続いて今年も国保料の値上げが予定され、介護保険料も値上げが見込まれています。誰もが安心して医療・介護を受けられるように、がんばっていききたいと思

**塚本** 昨年の市議会には市民の皆さんから国保料値上げ反対など10件の請願書が寄せられました。共産党市議員団は9件の紹介議員となり、市民の願い実現へ論戦を行いました。今年も市民との共同で市政を前に進めるため

